

# プロ意識についての考察

## プロ(職業)という言葉のとらえ方

プロ意識を持つて、仕事に取り組みましょう！

このように言われると、私たちは、確かに、その通りだ。自分たちは、会社から給料を貰っているから、やるべきことはきちんとしなければならぬ、このように考えざるを得なくなりませぬ。

しかし、問題は、この「プロ意識」の重要性が、どのような場面で強調されているのかということだ。

経験された方もいると思いますが、会社は、乗務員が運転事故や勤務事故を起こした際、プロとしての自覚はあるのか？とといった形で強調してきます。事故が起きるのは、個人だけの責任ではなく、労働環境も大いに影響するということはこれまで述べてきた通りです。プロ、という言葉をやむなく利用することで、**私たちが必要以上に責任を負わされているようにも思えます。**

私たちは、普段から、決められた仕事をこなすために、勤務前日はアルコールを控えたり、早朝出勤のために前泊したり、出勤時間の1時間前に着くように家を出たりする等、自分自身にさまざまな制約を課しています。要するに、「プロ意識」とは、本来、無意識に近いレベルで備わっているものです。

私たちは労働者の視点に立って、「プロ」として働きやすい労働環境を意識し、声を上げていかなければなりません。

## 「立場」を意識しましょう

会社と労働者は、持つべき考えが違うということを繰り返して述べてきました。プロ意識もそうですが、向上心、サーダーシップ、視野の広さ。このような、社会的に素晴らしいとされている言葉でも、それを用いる人間の立場によって、解釈は全く違ったものになります。これは、労使に限りません。

社員一丸となって、増収や自主活動に取り組み、JR九州を盛り上げていきましょう！。みなさんは、このように言われて、自分を犠牲にする形で会社に協力していませんか？自社商品の購入や、時間外活動は、強制、強要できないことになっていきます。

もっともらしい言葉を前に、何かがおかしいと感じたら、まずは自分と相手がどのような立場にあるのか、よく考えましょう。

同じ言葉でも、違う立場の人間が用いることで、正反対の行動を正当化してしまうことさえあります。



言われた通りするのが一番楽と思いませんか？



# 若い力

第 105 号  
2018年 11月1日  
発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号  
ニッコーハイツ1003号  
JR 092-2075  
NTT092-483-1515